

SUNSHINE

第23号 2008年 1月発行
有限会社 太陽開発
鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
E-Mail master91@po.taiyou1991.com
URL http://www.taiyou1991.com/



太陽開発 鹿児島

検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!!

福ビル
オーナー 福永様



荒田2丁目にある福ビルは、上荒田バス停まで徒歩1分、鹿児島大学から徒歩2分で通える場所にあり、とても便利な場所に立地しています。近くには交番・郵便局・銀行などなんでもそろっているの、緊急にお金が必要になった場合や、何か心配事があればすぐに交番に駆けつけられ、便利で安心です。間取りは3タイプ有り、1号室と3号室は2K、2号室は1DKで、全ての間取りが違います。全室バルコニーが南向きなので、日当たり良好☆明るいお部屋ですよ。1階は駐車場と敷地内にコインパーキングを確保してあるので、急なお客様が来ても安心です。(^▽^)

現在お一人暮らしの方からご家族の方まで住んでいらっしゃる、長く住まれる方も多くいらっしゃる人気物件ですよ。

明けておめでとうございます
今年もよろしくお願ひ致します

最近、新聞・テレビで格差社会、下流社会、ワーキングプア等の後ろ向き(悲観的)な言葉を度々目にします。既存の社会システムが崩壊して、大きな変革期にあるのではないのでしょうか。

私は、会社の代表として、社員全員へ対して、夢・希望を明確に与えられているのか考えました。(人間はみんな不安な気持ちで日々生活を送っている。果たして自分は今の生き方で良いのだろうか。将来自分はどうなるのだろうか) それぞれの不安を解消して、「やればできるんだ」という明確な自信を育て、絶対に夢や希望を叶えられるような環境を作るのが私の責任だと考えます。それにはリーダー自身が必ず目標を達成するという強い信念を持って、それを各人に伝え思いを共有することが大切だと思います。

今回は中村天風の一話に掲げてある誦句をご紹介します。みなさんも是非声に出して読んでみて下さい。(川越)

「力の誦句」



私は 力だ。
力の結晶だ。
何ものにも打ち克つ力の結晶だ。
だから何ものにも負けないのだ。
病にも 運命にも、
否 あらゆるすべてのものに
打ち克つ力だ。
そうだ!!

強い 強い 力の結晶だ。～中村天風一話より～

騎射場探訪

豚がメインの焼肉店

ホルモン屋

鹿児島大学正門から電停方面に歩き、サクスを右折。100mほど進んだ右手に見えてくるのが『ホルモン屋』さま。豚がメインの焼肉屋さんで、古民家を改装して作られたお店は木のぬくもりを感じるとても温かいお店です。単品のお値段もとてもリーズナブルで、学生さんから仕事帰りの社会人にもオススメです☆(^▽^)>

♪落ち着いた楽しめる雰囲気自慢のお店♪



店内は木のテーブルに丸太のイス、オーナー自ら集めた流木で窓に装飾がしてあり、落ち着いた自然の中にあるような雰囲気で楽しめます。



☆太陽開発のオススメ☆



☆豚足(とんぞく)☆

私たちのオススメは豚足♪♪
七輪でパリパリに焼くもよし!
温めてプルプルで食べるもよし!!
絶品ですよ(☆▽☆)



七輪で食べる豚バラは格別!!最高!!☆
臭みが全く無いので、苦手な方にもオススメ!!
この値段でこのボリューム☆

店長オススメメニュー☆

1位 バラ 2位 レバー 3位 せせり



七輪で食べる豚バラは格別!!最高!!☆



臭みが全く無いので、苦手な方にもオススメ!!



この値段でこのボリューム☆

♪食べ放題・飲み放題あります♪

こちらのお店で注目を集めているのが『豚ホルモン&野菜盛り+飲み放題』コース☆もつ鍋やサラダ・ごはんもつきます♪クーポンや前日までの御予約で、リーズナブルなお値段で楽しめますよ♪(^0^)/

荒田2丁目59-7

『ホルモン屋』

TEL099-254-7020

営業 Pあります

18:00~24:00

定休日 なし

☆予約は16:00以降にお電話下さい♪



講談社『天璋院篤姫』ブックカバーより引用



今月の一冊

作者:宮尾 登美子

1926年高知市生まれ。1962年第5回女流新人賞を『連』で受賞。1973年『権』で第9回太宰治賞受賞。1979年『一絃の琴』で第80回直木賞受賞。主な作品に『陽暉楼』『寒椿』『影絵』『鬼龍院花子の生涯』『天涯の花』等多数。

18歳で藩主斉彬の養女となった篤姫は薩摩島津家分家に生まれた学問好きな姫であった。その才覚、器量を見込んだ斉彬は画策の末、篤姫を13代將軍家定の正室として江戸城に送り込んだ。病弱な夫を支え將軍御台所として大奥三千人を見事に統べる篤姫だったが、家定の急死、継嗣をめぐる幕府内の対立、養父斉彬の死…。天璋院となったのちも総師として大奥を統べ、皇妹和宮の降嫁、大政奉還、激動の幕末を徳川家の人間として徳川宗家のために生き抜いた篤姫の偉大な生涯を描いた歴史長編。

いよいよNHK大河ドラマ『篤姫』の放映が始まりました。鹿児島では観光誘致の期待もあって、TV、ラジオ等での宣伝も盛んですし、書店でも“篤姫”コーナーが大々的に設けられているようです。私もブームに乗って年明け早々読んでみました。実は昨年夏から、学校の指定図書の一つであったようで娘の机の上に“篤姫上下巻”が置かれていたのですが、当の娘は読む気配はなく、私も“歴史長編”という響きに怯んで手にとっていない状態でした。しかし、せっかく鹿児島が舞台の大河ドラマが始まるのだから、と読んでみたら、これがとても面白い!幕末物は何冊か読んだことがありましたが、女性が主人公で、作者も女性という女性目線の物は始めてで、大奥の様子も丁寧に描かれており興味深いです。今度はドルフィンボートの“篤姫館”にも足を運んでみようと思っています。ドラマも楽しみです。皆様も原作にも目を通されてみてはいかがでしょうか。